

水害・土砂災害への備えはできていますか？



水害や土砂災害は、台風や集中豪雨、また地震などがきっかけで突発的に発生します。一人ひとりが日頃から自分の周りにどのような災害の危険がおよぶのかを考え、その被害をできるだけ少なくするために必要な対策を講じることが重要です。

☑ 家の周りを点検

雨といや、側溝の落ち葉や土砂を取り除いて水はけをよくしておく。
台風接近時などは、植木鉢等を室内に入れ、自転車はロープで固定する。

☑ 浸水や土砂災害の警戒区域をハザードマップで確認

自宅周辺や避難場所、避難経路などの浸水の深さ等を確認しておく。

☑ 食料などの備蓄、非常用持出品の準備

最低3日分（できれば1週間分）の生活用品（食料・水など）を備蓄しておく。
避難に備えて、非常用持出袋を用意しておく。

☑ 情報を得る

おおさか防災ネットなどで防災情報や気象情報を確認しておく。



羽曳野市
防災ハザードマップ



おおさか
防災ネット



大阪防災アプリ

非常用持出袋チェックリスト

☐ 懐中電灯

☐ ヘルメット(頭巾)

☐ 非常用食料

☐ 水、食料

☐ 携帯ラジオ

☐ 救急箱(常備薬)

☐ ティッシュ、ウェットティッシュ

☐ 歯ブラシ

☐ ドライシャンプー

☐ 眼鏡、コンタクトレンズ

☐ ブランケット

☐ 衣類、タオル

☐ 予備バッテリー(乾電池)

☐ 軍手

☐ 携帯トイレ

☐ 携帯電話充電器

☐ 貴重品(現金、預金通帳、印鑑など)



～ 令和8年5月29日より気象の警報などが大きく変わりました～

警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	行動
災害発生 5	【緊急安全確保(市町村が発令) ※1】 災害発生または切迫している状況 レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・今いる場所よりも安全な場所に直ちに移動
▼▼▼▼ 警戒レベル4(避難指示)までに必ず避難！(警戒レベル5は必ずしも発令されるとは限りません) ▼▼▼▼				
4	【避難指示(市町村が発令)】 災害のおそれが高い状況 レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	・危険な場所から全員避難
3	【高齢者等避難(市町村が発令) ※2】 災害のおそれあり レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	・避難に時間がかかる高齢者等は危険な場所から避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難 (例) 台風などで暴風が予想される場合は暴風が吹き始める前に避難を完了
2	【各種注意報(気象庁が発表)】 気象状況悪化 レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	・自らの避難行動を確認 ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認
1	【早期注意情報(気象庁が発表)】 今後気象状況悪化のおそれ			・災害への心構えを高める

※1) 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、「警戒レベル5」は必ずしも発令される情報ではありません。また、警戒レベル相当情報が発表されたとしても、必ずしも同時刻に同じレベルの避難情報が発令されるものではありません。

※2) 「警戒レベル3」は、高齢者や障害のある人、妊産婦、乳幼児連れの人など、避難に時間がかかる人は避難を開始してください。それ以外の人も、必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難してください。

活用しませんか！羽曳野市自主防災組織活動補助金

町会・自治会でやる自主防災活動に必要な物資の購入や研修などの費用を補助します。今年度より「消火器の購入」「防災士の資格取得」が補助対象となり、補助金額の上限に達するまで何度でも申請できるようになりました。



<問合せ> 危機管理課